



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2022 12月号
Vol.142
毎月1回発行(通巻142号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.JMMPA.jp/>

第11回「全国医療経営士実践研究大会」WEB大会

演題発表表彰者が決定! 審査委員奨励賞は2名が受賞

第11回全国医療経営士実践研究大会において、7名がエントリーした演題発表。審査委員会による審査の結果、4名の受賞者が決定。審査委員奨励賞には小野寺和清氏(医療法人医徳会真壁病院事務長)と大宮謙一氏(東京ツナクリニックス院長)の2名が選ばれた。(発表者・受賞者一覧と審査委員長インタビューを2面に掲載)

病院事務長と診療所院長が審査委員奨励賞に輝く

今大会の医療経営士による演題発表は、初の試みとして、11月17日にはオンラインにて演題発表者によるディスカッション・質疑応答を実施、約40名が視聴し、リアルタイムで寄せられた質問に回答するなど盛り上がりを見せた。

12月8日に大会運営委員長であり審査委員長を務める吉長成恭氏(甲子園短期大学特任教授・教育研究センター長、当協会参与)らによる審査委員会が開催され、審査の結果4名の受賞者が決定した。

審査委員奨励賞には、自院の経営をV字回復させた経営改善プロジェクトの取り組みを紹介した小野寺和清氏(医療法人医徳会真壁病院)と、自らクリニックを開設、医療経営士による

クリニック経営の実践を報告した大宮謙一氏(東京ツナクリニックス)が選ばれた。

小野寺氏は、「このままではあと2年で病院が倒産する」という危機的な状況のなか、経営改善に向けたプロジェクトチームを設置。メンバーとの情報共有と意思の統一をしっかりと行い、モチベーションを高く保ちながらチームとして取り組んだ成果を報告。医療収入を大幅に増加させ、赤字続きであった病院を黒字に転換できた要因はどこにあったのか、ぜひ小野寺氏の発表を視聴していただきたい。

一方、大宮氏は自らの取り組みを「医療経営士が実際に医療機関を経営するという社会実験」と位置づけ、これまで医療経営士として学んできたことが本場に通用するのかがという命題に挑戦。在宅医療に特化し

た診療所として今年4月に開院し、コロナ禍では発熱外来にも対応、初年度から大きな成果を上げていることを報告した。大宮氏の発表を視聴することで、医療経営士として大きな刺激を受けることは間違いなさだろう。

大会動画の公開期間が延長今からでも申し込みOK!

また、公設公営から指定管理者制度へと経営形態が変わり、経営改善につながった経緯と改善のポイントを報告した村上城子氏(和泉市立総合医療センター)がインパクト賞、予約システムの變更を通して患者

満足度向上と職員の負担軽減を実現した中神勇輝氏(真生会富山病院)がリーダーシップ賞を受賞した。受賞した演題発表も含め、全プログラムについては視聴期間を2023年1月末まで延長している。今から申し込みいただいてもすべて視聴することができ、大会に参加できなかった、という方も、この機会にぜひ視聴いただき、新たな気づきを得ていただきたい。

第11回 全国医療経営士実践研究大会

経営V字回復大作戦
～経営改善プロジェクトチーム設立と実行の仕組みづくり～

医療法人医徳会 真壁病院
小野寺和清 (医療経営士1級)

小野寺和清氏

医療経営士が
医療機関を作ってみた

大宮 謙一、網代 祐介¹、高橋 明¹、下山 祐人²

¹東京ツナクリニックス
²あけぼの診療所

大宮謙一氏

第11回 全国医療経営士実践研究大会 WEB大会

視聴期間
延長しました!

2023年
1月31日(火)
まで!

【大会テーマ】

病院経営は新たなステージへ!

医療経営士の職域確立 からはじまる人材革命

参加エントリーは開催期間中いつでもOK!
今からでも視聴エントリーできます!

大会運営委員長 | 吉長成恭 甲子園短期大学特任教授・教育研究センター長 / 一般社団法人日本医療経営実践協会参与

【事務局】 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 ☎03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/seminar/zenkokutikai/>



それぞれの職域の役割を明確化し 医療経営士の価値を高めていこう



審査委員奨励賞を2名が受賞した全国医療経営士実践研究大会。今大会の大会運営委員長であり、演題発表の審査委員長を務めた吉長成恭氏(甲子園短期大学特任教授・教育研究センター長)に、その審査のポイントと総評を伺った。

**多様な背景を持つ医療経営士が
自らの職域を確立することが重要**

今大会で発表された方は皆さん甲乙つけがたい実力の持ち主で、審査でも意見が割れるのではないかと思っていたのですが、全会一致で受賞者を決めることができました。審査委員奨励賞については実力伯仲した結果、小野寺和清さんと大宮謙一さんのお二人を受賞者とさせていただきます。

まず小野寺さんについてですが、そもそも組織が経営回復に向けたプロジェクトチームのリーダーに抜擢されたという事実が、それまでの小野寺さんの業務に対する情熱が伝わっていたという評価の現れであると思います。そして実際にチームメンバーの選出から行って、プロジェクトを実行していくというリーダーシップ性も非常に強く感じました。今大会の「医療経営士の職域確立からはじまる人材革命」というテーマにも非常にマッチした形で活躍されているという印象でした。改善の効果もインパクトが大きく、こちらも審査をしながら勉強になることが多かったと言えます。

大宮さんについては、自身の臨床医としての実績、地域のネットワークを客観

的・主観的に分析した上で地域社会が求めているニーズをしっかりとマーケティングを行い、医療経営士として習得した学問的裏付けを上手く使って、「こういうクリニックが世の中にあるといいよね」という共感を得るような発表でした。院長として一人で行うのではなく、バックグラウンドが異なる医療経営士をパートナーに抜擢して、医療経営士としての多様な価値観を尊重して自分のクリニックの成功に導いたということ、医療経営士についてよく理解していると感じました。

また、これまでは医療経営士という大きな病院や組織のなかで活躍する、というイメージが強かったように思います。しかし、組織の規模に関係なく、地域に密着した無床の診療所であってもそこでいい経営をすることがいい医療につながるという本質を実行されている、医療経営士としての職域の

裾野を広げていただいた、頼もしい事例でした。その他、リーダーシップ賞とインパクト賞を合わせた贈賞したのは4名ですが、他の方の発表も大変素晴らしいものでした。今後多様なバックグラウンドの下、さまざまな分野からたくさんの方の医療経営士が輩出されることを願っています。

今大会では動画の視聴期間が来年1月末まで延長されています。皆さんの発表をご視聴いただくことで、審査委員が選んだ理由もわかっていたいただけるのではないかと考えています。まだご覧になっていない方は、ぜひご視聴をお願いいたします。

また、これまでの医療経営士という大きな病院や組織のなかで活躍する、というイメージが強かったように思います。しかし、組織の規模に関係なく、地域に密着した無床の診療所であってもそこでいい経営をすることがいい医療につながるという本質を実行されている、医療経営士としての職域の

(本インタビューの全文を大会特設サイトにて掲載しています)

第11回全国医療経営士実践研究大会 演題発表者・演題タイトルおよび受賞一覧	
○	村上城子(和泉市立総合医療センター総長/2級) 「自治体病院の経営形態 公設公営から指定管理者制度へ」
★	小野寺和清(医療法人医徳会法人本部事務局長兼真壁病院事務長/1級) 「経営V字回復大作戦～経営改善プロジェクトチーム設立と実行の仕組みづくり～」
○	奥平和樹(社会医療法人敬愛会ちばなクリニック健康管理センター事務代理/1級) 「黒字事業の運営改善と事業拡張への取り組み」
○	大賀隆裕(株式会社アルマ経営研究所取締役/2級) 「中小企業診断士目線による現場改善のヒント」
★	大宮謙一(東京ソナクリニック院長/1級、医療経営指導士) 「医療経営士が医療機関を作ってみた」
○	中神勇輝(医療法人真生会真生会富山病院経営企画部企画課主任/2級) 「眼科予約システム変更による外来待ち時間の短縮～患者満足度の向上と職員負担の軽減のために企画の立場でできること～」
○	シュナック千賀子(スリーロック株式会社取締役/2級) 「もっと幸せな医療」を実現するコーチング」



ライブ配信が行われた全国会議

TOPICS 「介護福祉経営士全国会議2022」開催 介護経営の課題解決への道筋を探る

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は11月11日から11月31日までの期間において、協会創立10周年を記念し、「混迷の時代を乗り越える」介護福祉経営士を「一マネジメント力と組織力を向上させる職域を考える」をテーマに、特別講演、基調講演、介護福祉経営士による全国会議で構成する記念イベントを開催した。

特別講演「介護保険制度の行方とこれから求められる介護福祉人材」に登壇した兵庫県立大学客員教授で元厚生労働省老健局長の宮島俊彦氏は、マクロな視点から介護業界の課題について解説。財政的・人的な制約があるなかでいかにサービスの質を向上させていくかという課題解決に向けて、介護福祉経営士への期待を語った。

社会福祉法人こうほうえん会長で同協会中国支部長を務める廣江研氏による基調講演「混迷の時代を乗り越える」介護福祉経営士」では、介護福祉経営士誕生からの10年を総括。これからの10年に向け、介護福祉経営士が生産性向上、効率化を視野に入れた新しい技術革新を実践する中心的存在になってほしいとエールを送った。

11月24日にライブ配信として行われた全国会議「介護事業のマネジメント力と組織力を向上させる職域を考える」――職員が働きやすい職場環境の整備に不可欠な条件とは――では、同協会理事であり株式会社ウエルビー代表取締役の青木正人氏を司会役とし、4名の介護福祉経営士が登壇。「若いスタッフが上を目指さない理由は何か」「スタッフの仕事のやりがいについてどのように考えながら経営を行っているか」などのテーマについて議論が交わされた。

視聴者からの質問にリアルタイムで回答するシーンもあり、ライブ配信ならではの臨場感のあるイベントとなった。

事務局 掲示板

知っておきたい「医学の基礎知識」を DVDとテキストで効果的に習得できる 「医療経営士」基礎力UP講座

当協会では医療経営士として知っておきたい医学の基礎知識を効果的に学べる「基礎力UP講座」を開講しています。テキストとDVDを通して事務職や他業種の方が、医療専門職との連携やコミュニケーションにおいて必要不可欠な医学知識や医療用語を平易かつ効果的に学習できる仕組みになっています。詳細はホームページにてご確認ください。

【医療経営士「基礎力UP講座」】

<http://www.jmmpa.jp/support/tsushin/up/>
TEL:03-3553-2862



医療経営士の皆様へ 所属先の掲載ご協力をお願い

本協会のホームページでは、会員の皆様から掲載の同意をいただいて、医療経営士が所属する医療機関・企業名を公開しています。

医療機関の抱えるさまざまな経営課題を迅速かつ的確に解決できる能力を持った医療経営士の所属先を公開することで、経営力を持った医療機関であること、医療機関のマネジメントを支援できる人材を有する企業であることをアピールすることができます。掲載の同意をいただける方は、下記URLからご登録ください。

【ご登録はこちらから】

<http://www.jmmpa.jp/support/cat108>

PICK UP 研究会

関西支部

“イチ”からわかる病院経営オンライン塾(全5回) 大好評開催中! 途中からの参加も歓迎!!

関西支部では11月より、病院経営に関する正しい知識を身につけることを目的として、「イチ”からわかる病院経営オンライン塾”(全5回)を開催中。講師はこれまでも医療経営士に向けてさまざまな講義を行ってきた、有限責任監査法人トーマツの古株靖久氏が務める。

1月からは「病院の内部環境分析」「病院経営戦略の策定と実行」「病院経営の改善手法」をそれぞれ学んでいく。各回90分間の講義とディスカッションで構成。1回目から参加していなくても、関心のあるテーマのみでも受講できる。

■日時(第1回)

【第3回】1月21日(土)
14:00~16:00

【第4回】2月18日(土)
14:00~16:00

【第5回】3月18日(土)
14:00~16:00

■参加費(税込)

各回2,000円

■お問い合わせ先

日本医療経営実践協会関西支部
TEL:06-7660-1761(谷田川)

2/10 東北支部

第14回 みやぎ仙台ネットワーク

広報3年ブランディングへの取り組み

宮城県の医療経営士が主体的に活動し、医療経営士同士の横のつながりをつくることと、「県内1病院1医療経営士」の育成を目指している「みやぎ仙台ネットワーク」。第14回は、社会医療法人康陽会中嶋病院法人管理室主任の三橋知佳氏を講師に招き、SNSの積極的な運用やリクルートにおける動画の活用など、広報・ブランディングについて学ぶ。

■日時

2月20日(金)18:00~19:20

■開催方式

オンライン(Zoom)

■参加費(税込)

無料

■お問い合わせ先

日本医療経営実践協会東北支部
TEL:022-281-8536(三浦)

INFORMATION



日本ヘルスケア経営学院 新講座開講 「医療現場のコミュニケーション&ハラスメント対応スキルアップ研修」

各10分のショート動画による構成 多忙な医療職でもスキマ時間で学習可能 新時代の接遇研修講座がスタート!

ヘルスケア分野の経営人材を養成・育成する日本ヘルスケア経営学院では、12月より新たなラインナップとして「医療現場のコミュニケーション&ハラスメント対応スキルアップ研修 WEB講座」を開講した。

近年、医療現場でもクローズアップされる「ハラスメント」の問題。医師一患者間だけでなく、看護師や事務職員と患者間、そして医療職同士でもさまざま

なコミュニケーションエラーが生じ、ハラスメントにつながる可能性がある。

同講座では、そもそもハラスメントはなぜ起こるのか、对患者、医療スタッフ間のトラブルを防ぐためにはどうすればよいのかについて、実践的な対処法を解説している。

講師には医療機関における接遇研修等の経験も豊富な株式会社メディカルクリエイト・多摩大学大学院客員教授の石井富美氏を迎え、1本約10分の動画5本で構成。研修の時間を取るのが難しいメディカルスタッフが短時間で学ぶことができるようになっている。

■ 講義内容(各動画とも約10分)

- | | |
|-----------------------|---|
| ① ブランディングの鏡 | 現場は常に1対1「真実の瞬間」の判断は個人/NPSは顧客ロイヤルティを定量的に測る指標/患者さんの反応は自分たちの行動を映す鏡 ほか |
| ② 医療現場のトラブル対応 | 職場内コミュニケーションの課題/コンフリクトはフレームの違いが招く理解の違いで生まれるほか |
| ③ 医療現場のハラスメントの仕組みと対処法 | ハラスメントは行う方の意識の有無に関係ない/「患者の権利と責務」とハラスメント/誰でもハラスメントの加害者になるリスクがある ほか |
| ④ コミュニケーションスタイルを知る | 職場の4つのコミュニケーション形態/自己表現のタイプを知る/メッセージの伝え方、言葉の選び方 ほか |
| ⑤ コミュニケーションスキルアップ | チームのコミュニケーション力アップは医療安全を推進する活動につながる/コミュニケーションスキルによる医療安全推進策Team STEPPS ほか |

- 概要 ▶ 受講料(税込):4,400円 ▶ 講義時間:各10分程度(全5本)
▶ 受講期間:20日間 ▶ URL: <https://hcmi-s.net/weblesson-hcm/if-03/>



講師からのメッセージ

病院勤務の専門職の方々は、知識や技術のスキルアップのための研修にはしっかりと時間を使いますが、コミュニケーション研修などの全職員共通の研修にはなかなか時間をさけないという声を聞きます。

多様性を受け入れる社会環境のなかで、「接遇」や「コミュニケーション」というテーマに関心は高くても、集合研修では参加率が上がらないという現状もあるようです。

コミュニケーションは患者さんとの関係だけでなく、職員間の情報共有にも重要なツールです。また、ちょっとした言葉の選び方や捉え方でハラスメントに発展してしまうこともあります。専門性が高い職種が多く働く現場では、誰でもハラスメントの加害者になってしまう可能性があるのです。

本講座では、円滑なコミュニケーションをとる工夫、ハラスメントの防ぎ方などを、具体的な事例も踏まえてコンパクトまとめて解説していますので、ぜひ多くの方、特に医師や看護師といったメディカルスタッフの皆さんにご視聴いただきたいと思っています。



株式会社メディカルクリエイト・多摩大学大学院客員教授
石井 富美

第24回「医療経営士2級」
第37回「医療経営士3級」
資格認定試験 結果詳報

3級受験者・累計5万3,000人、 2級受験者・累計8,800人を突破！

一般社団法人日本医療経営実践協会は、11月16日(水)、第24回「医療経営士2級」および第37回「医療経営士3級」資格認定試験(ともに10月16日(日)実施)の合格者を発表した。2級試験(10会場)は297人が受験し、84人が合格(合格率28.3%)。3級試験(22会場)は1,114人が受験し、359人が合格(合格率32.2%)した。両試験における結果の詳細を報告する。

2級84人、3級359人の合格者が誕生！

第24回「医療経営士2級」資格認定試験

●結果概要「表1」

受験申込者数340人のうち297人が受験(受験率87.4%)、84人が合格(合格率28.3%)した。第1回からの受験者数の累計は8856人、合格者数の累計は2412人(合格率率27.2%)となった。

●年代別構成「表2」

受験者数および合格者数において、「40歳以上49歳以下」がそれぞれ最多を占め、「30歳以上39歳以下」がそれに続いた。「30歳以上39歳以下」における受験者数は87人(全体の29.3%)、合格者数は24人(同28.6%)で、全体に占める割合において、受験者数・合格者数の両方向時に30%を下

	第24回試験	第1~24回試験累計
受験者数	297人	8,856人
合格者数	84人	2,412人
合格率	28.3%	27.2%

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	24人 (8.1%)	6人 (7.1%)	25.0%
30歳以上39歳以下	87人 (29.3%)	24人 (28.6%)	27.6%
40歳以上49歳以下	108人 (36.4%)	30人 (35.7%)	27.8%
50歳以上59歳以下	62人 (20.9%)	20人 (23.8%)	32.3%
60歳以上	16人 (5.4%)	4人 (4.8%)	25.0%

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	93人 (31.3%)	29人 (34.5%)	31.2%
医療関連企業	49人 (16.5%)	8人 (9.5%)	16.3%
医薬品製造・卸売	80人 (26.9%)	25人 (29.8%)	31.3%
医療機器製造・販売	26人 (8.8%)	9人 (10.7%)	34.6%
金融機関	17人 (5.7%)	3人 (3.6%)	17.6%
大学生・短大生	1人 (0.3%)	0人 (0.0%)	0.0%
その他	31人 (10.4%)	10人 (11.9%)	32.3%

	第37回試験	第1~37回試験累計
受験者数	1,114人	53,146人
合格者数	359人	22,716人
合格率	32.2%	42.7%

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	269人 (24.1%)	80人 (23.3%)	29.7%
30歳以上39歳以下	368人 (33.0%)	117人 (32.6%)	31.8%
40歳以上49歳以下	303人 (27.2%)	105人 (29.2%)	34.7%
50歳以上59歳以下	155人 (13.9%)	53人 (14.8%)	34.2%
60歳以上	19人 (1.7%)	4人 (1.1%)	21.1%

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	290人 (26.0%)	117人 (32.6%)	40.3%
医療関連企業	228人 (20.5%)	78人 (21.7%)	34.2%
医薬品製造・卸売	320人 (28.7%)	89人 (24.8%)	27.8%
医療機器製造・販売	52人 (4.7%)	15人 (4.2%)	28.8%
金融機関	104人 (9.3%)	30人 (8.4%)	28.8%
大学生・短大生	17人 (1.5%)	5人 (1.4%)	29.4%
その他	103人 (9.2%)	25人 (7.0%)	24.3%

※カッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
※2級および3級試験における勤務先別の「金融機関」は第3回(第6回)から、「医薬品製造・卸売」は第16回(第23回)から、「医療機器製造・販売」は第21回(第30回)から追加された(カッコ内は3級試験の試験回)。
※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する。

第37回「医療経営士3級」資格認定試験

●結果概要「表4」

受験申込者数1276人のうち1114人が受験(受験率87.3%)、359人が合格(合格率32.2%)した。この結果、累計受験者数は5万3146人、累計合格者数は2万2716人(合格率42.7%)となった。

●年代別構成「表5」

受験者数、合格者数ともに、「30歳以上39歳以下」が368人(全体の33.0%)、117人(同32.6%)と最多で、「40歳以上49歳以下」が303人(同27.2%)、105人(同29.2%)と続いた。合格率では前回、

●結果概要「表1」

受験申込者数340人のうち297人が受験(受験率87.4%)、84人が合格(合格率28.3%)した。第1回からの受験者数の累計は8856人、合格者数の累計は2412人(合格率率27.2%)となった。

●勤務先別構成「表3」

前回、受験者数・合格者数・合格率のすべてでトップを飾った「病医院」であったが、受験者数と合格者数では93人、29人とそれぞれ最多を維持したが、合格率においては、「医療機器製造・販売」(34.6%)、「その他」(32.3%)、「医薬品製造・卸売」(31.3%)に次ぐ31.2%に止まった。一方で、「医療機器製造・販売」は前回の15.8%から34.6%へと倍増以上の結果となった。

●勤務先別構成「表6」

前回と比較すると、受験者数については、すべての勤務先において増加した。それに伴い、合格者数も「医薬品製造・卸売」と「その他」を除いて増加(金融機関は同数)したが、合格率が上昇したのは「医療関連企業」(+1%)と「医療機器製造・販売」(+4.7%)のみで、その他の勤務先では下降となった。特に「医薬品製造・卸売」(+12.8%)、「金融機関」(+9.7%)、「大学生・短大生」(+15.0%)、「その他」(+12.4%)が大きく合格率を落とした。

医療経営士3級 資格認定試験

受験エントリー
2022年
12月26日
開始!

同僚や
知り合いの方に
ご紹介ください

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 **2023年 12月26日**

受験エントリー期間 2022年12月26日(火)~1月16日(月)

受験料支払締切日 **1月17日(火)**

第38回「医療経営士3級」

受験料 9,100円(税込)
※手数料別途

受験資格 年齢、学歴、国籍等の制約はありません

試験会場 (予定) 札幌・盛岡・仙台・さいたま・東京・名古屋・大阪・金沢・広島・高松・福岡・鹿児島・那覇

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめて申し込みできます。
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。詳しくは協会ホームページをご確認ください